

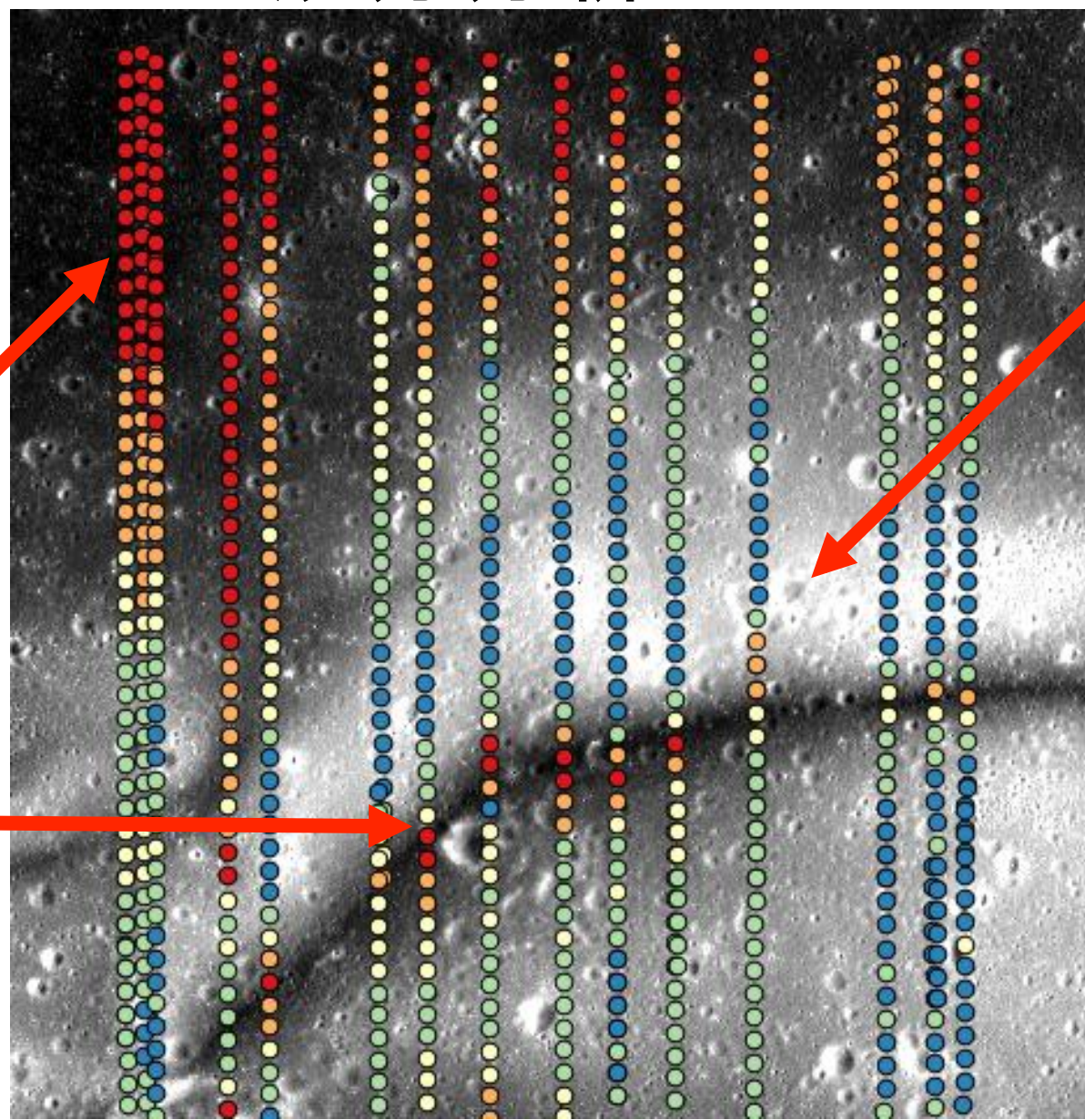
惑星探査第七回実習会 発表

大阪大学理学部物理学科4年

岡崎瑞祈

MeinerGamma 主成分分析PC1

-0.6538 - -0.1514
-0.1514 - -0.0736
-0.0736 - 0.0380
0.0380 - 0.1597
0.1597 - 0.5926



値の大きいところ(青)は明るい領域

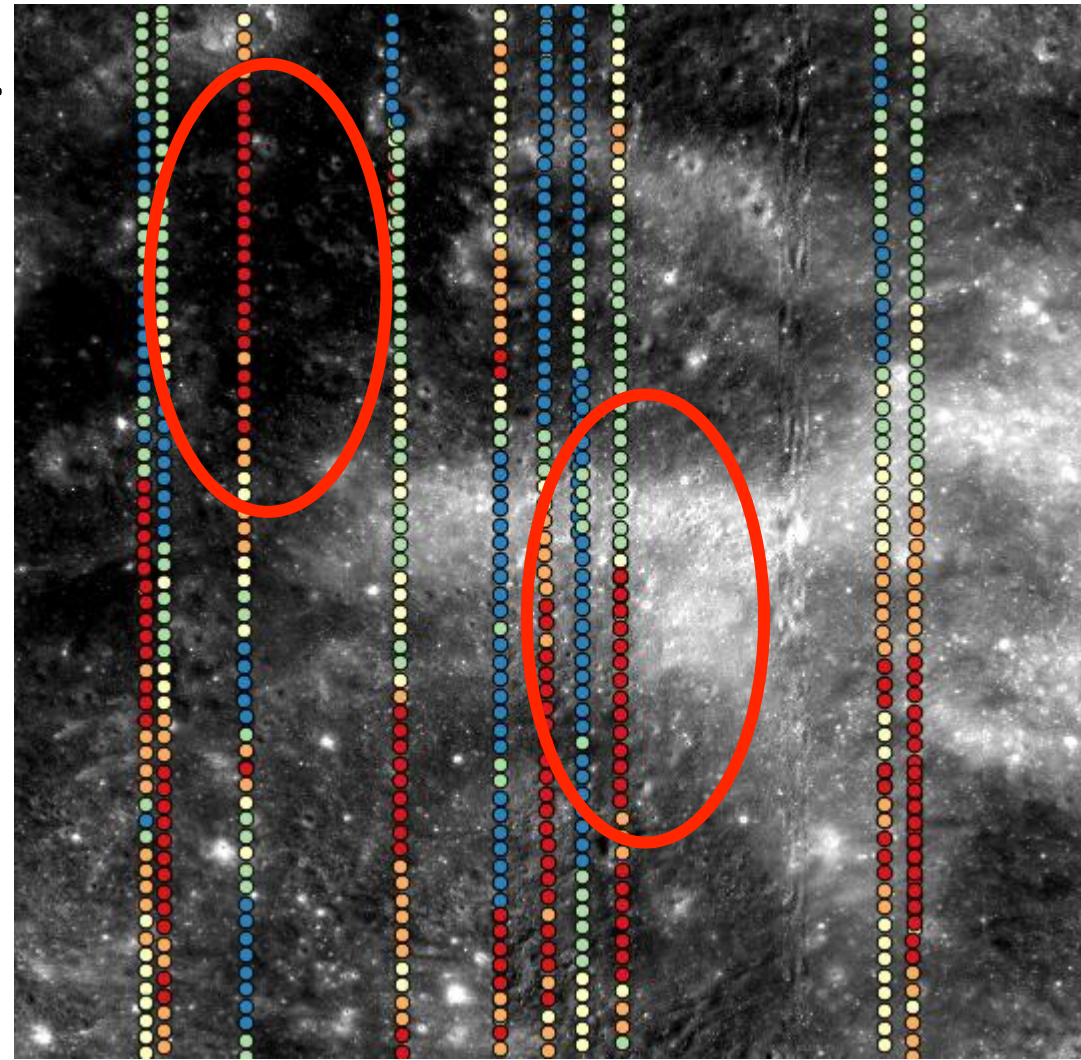
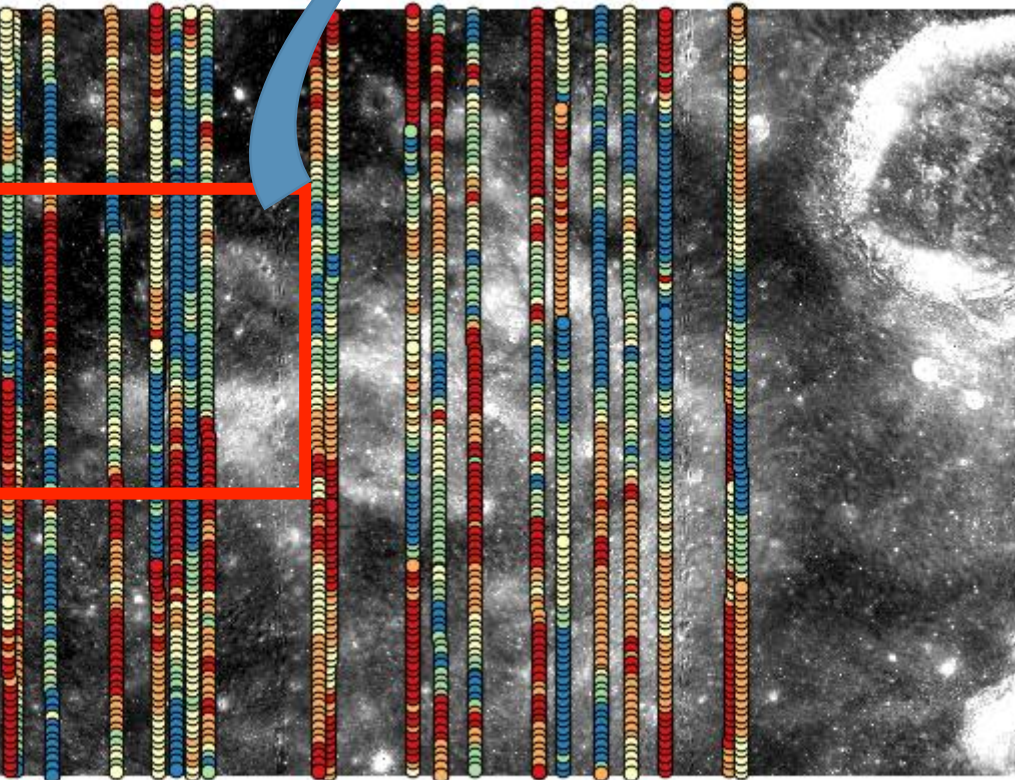
の小さいところ(赤)は暗い領域

⇒アルベドとの相

Trasimovich 主成分分析PC1

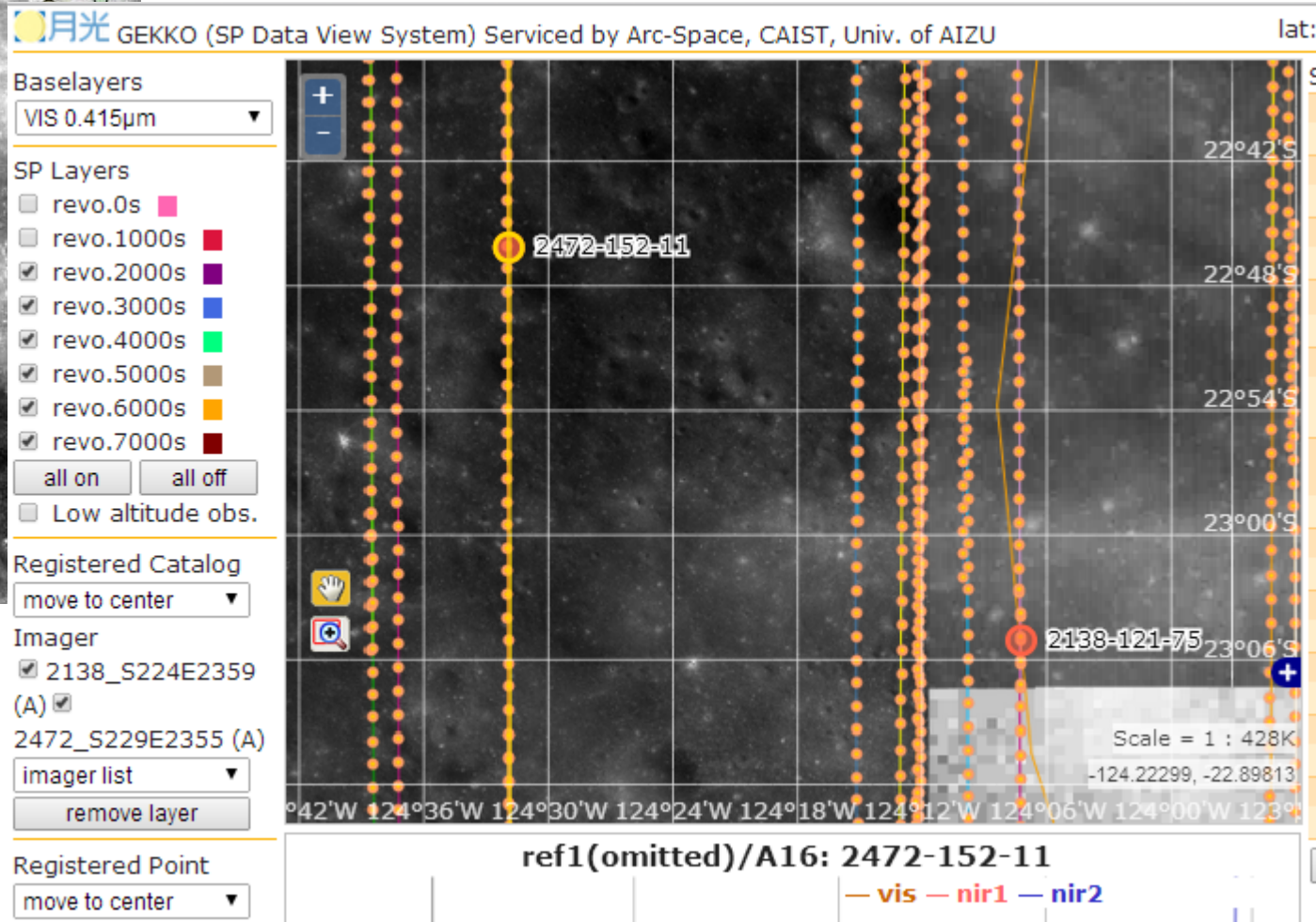
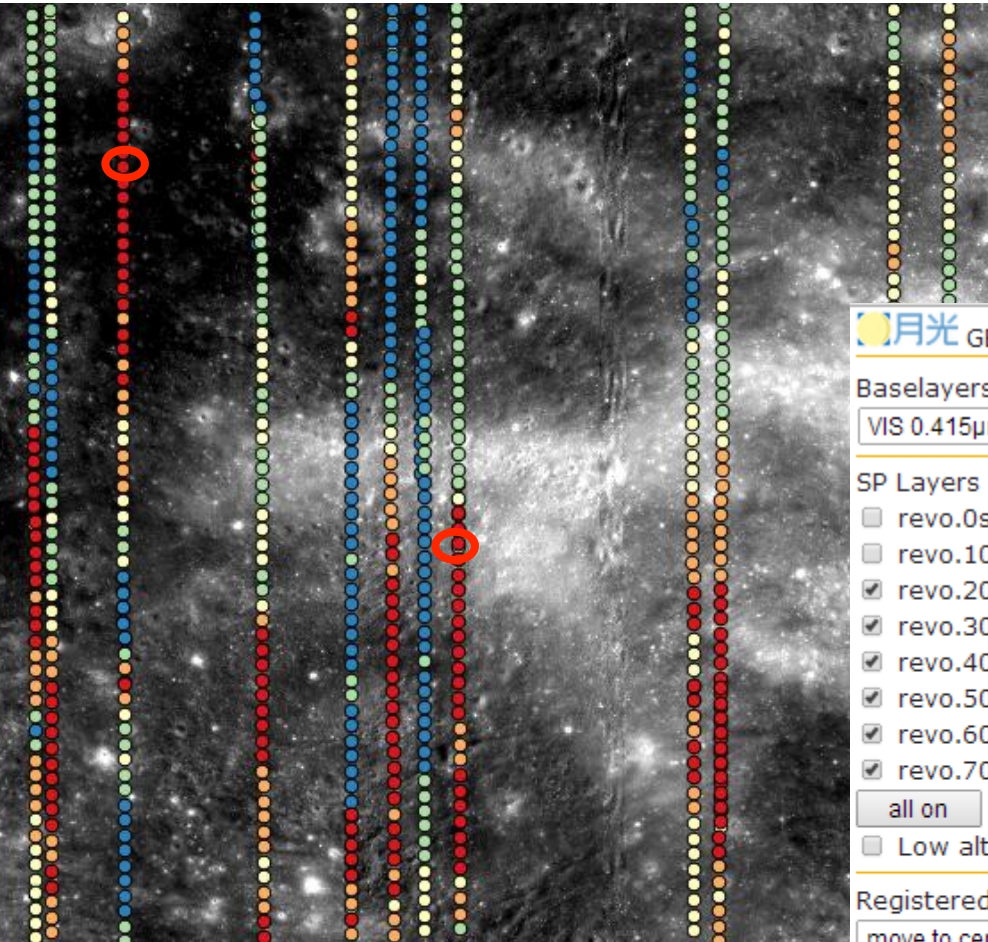
-0.6538 - -0.1514
-0.1514 - -0.0736
-0.0736 - 0.0380
0.0380 - 0.1597
0.1597 - 0.5926

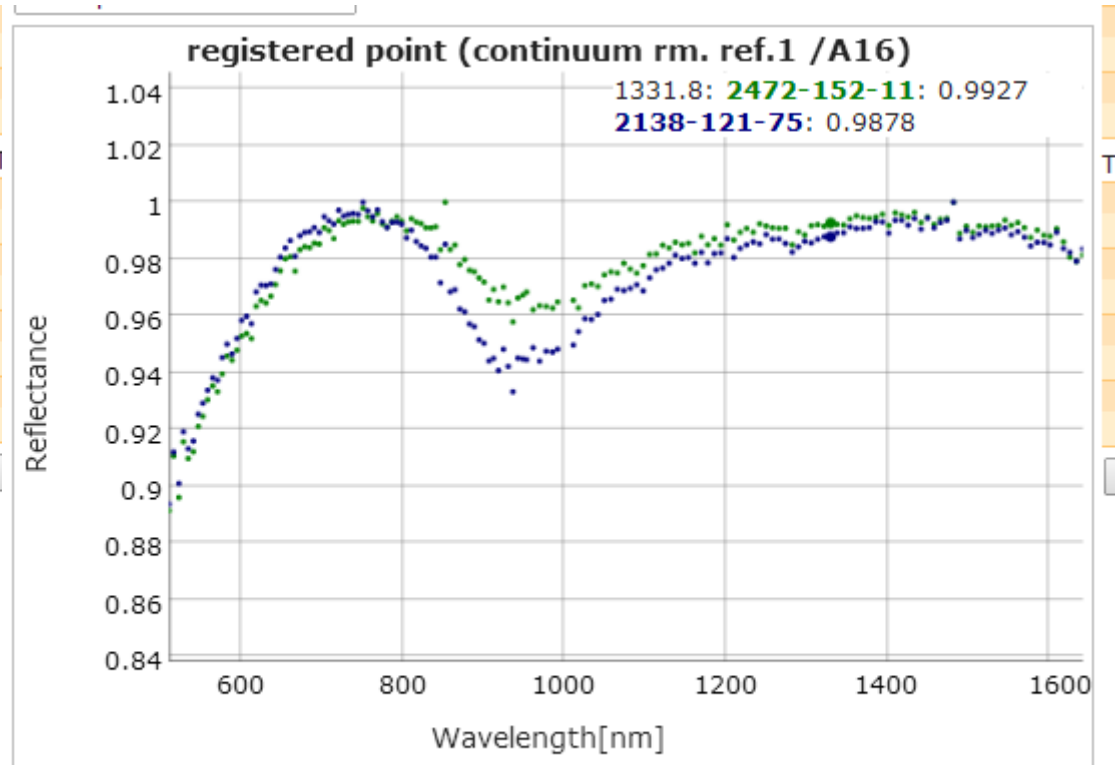
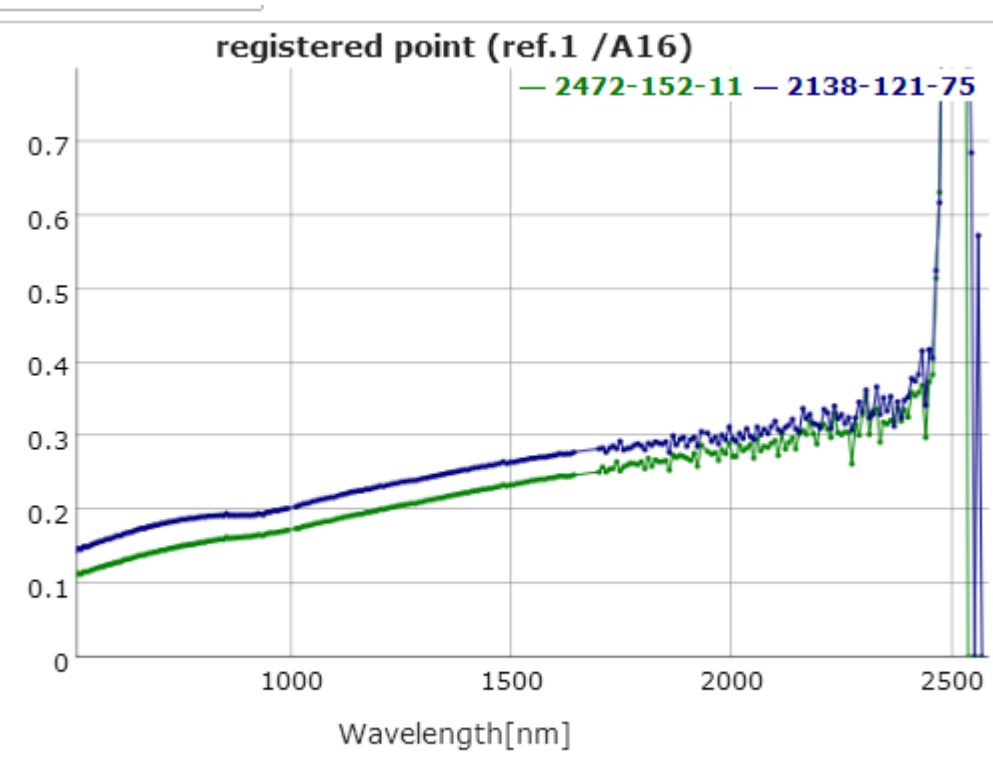
拡大!



赤い点が暗い領域・明るい領域
どちらにも確認できる
⇒アルベドとの相関???

月光で二つの赤の地点のスペクトルデータを取り、比較してみる





type: reflectance 1/A16 get csv data Max Y-axis of ref1 0.8 change

graph type: ref1,continuum rm/A16 get csv data

Max Y-axis of revised ref1 1.2 change

2 (暗い領域)の方がReflectanceが低い
2の方が吸収帯が弱くなっている

宇宙風化作用>
赤化
暗化
吸収帯が弱くなる

→確認できた
→確認できた

⇒2472 (暗い領域)の方は宇宙風化の影響を受けているといえる

★主成分分析の結果は等しい(どちらも赤い点)
⇒2472,2138 両地点の構成成分は同じ?!